

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 7 部門第 4 区分

【発行日】平成 28 年 2 月 4 日 (2016.2.4)

【公開番号】特開 2015-19457 (P2015-19457A)

【公開日】平成 27 年 1 月 29 日 (2015.1.29)

【年通号数】公開・登録公報 2015-006

【出願番号】特願 2013-143786 (P2013-143786)

【国際特許分類】

H 0 2 K 3/30 (2006.01)

H 0 2 K 3/38 (2006.01)

H 0 1 B 3/42 (2006.01)

H 0 1 B 3/30 (2006.01)

H 0 1 F 5/06 (2006.01)

【F I】

H 0 2 K 3/30

H 0 2 K 3/38 Z

H 0 1 B 3/42 D

H 0 1 B 3/30 M

H 0 1 B 3/42 Z

H 0 1 F 5/06 Q

【手続補正書】

【提出日】平成 27 年 12 月 10 日 (2015.12.10)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

絶縁被膜された導線により形成されるコイルを備え、

前記コイルが、基材不飽和ポリエステル樹脂および / または基材ビニルエステル樹脂と、基材ラジカル重合性単量体と、前記絶縁被膜された導線の前記絶縁被膜との接着能を有するラジカル重合性単量体（以降、接着能ラジカル重合性単量体）と、光ラジカル重合開始剤と、を含む樹脂組成物によって被覆されることを特徴とする回転電機用部材。

【請求項 2】

請求項 1 に記載の回転電機用部材において、

前記コイルが、単一種類の前記樹脂組成物のみによって被覆されることを特徴とする回転電機用部材。

【請求項 3】

請求項 1 または 2 に記載の回転電機用部材において、

前記樹脂組成物に含まれる、前記接着能ラジカル重合性単量体が、熱潜在性イソシアネート基を有するラジカル重合性単量体であることを特徴とする回転電機用部材。

【請求項 4】

請求項 1 ～ 3 のいずれか一項に記載の回転電機用部材において、

前記樹脂組成物が、アルキルボランおよび / またはアルコキシアミン誘導体をさらに含むことを特徴とする回転電機用部材。

【請求項 5】

請求項 1 ～ 4 のいずれか一項に記載の回転電機用部材を用いたことを特徴とする回転電

機。

【請求項 6】

基材不飽和ポリエステル樹脂および／または基材ビニルエステル樹脂と、  
基材ラジカル重合性単量体と、  
絶縁被膜された導線の前記絶縁被膜との接着能を有するラジカル重合性単量体（以降、  
接着能ラジカル重合性単量体）と、  
光ラジカル重合開始剤と、を含むことを特徴とする樹脂組成物。

【請求項 7】

請求項 6 に記載の樹脂組成物において、  
前記接着能ラジカル重合性単量体が、熱潜在性イソシアネート基を有するラジカル重合  
性単量体であることを特徴とする樹脂組成物。

【請求項 8】

請求項 6 または 7 に記載の樹脂組成物において、  
アルキルボランおよび／またはアルコキシアミン誘導体をさらに含むことを特徴とする  
樹脂組成物。